



図書館トピックス

「大分そらはく」宇宙日本食プレゼント

「大分そらはく」(7/5~9/25)で「宇宙日本食プレゼント企画」を行いました。期間中、図書館利用者の方から505枚の応募がありました(当選発表は10/1に実施)。多数のご応募、ありがとうございました。

大分県図書館利用促進企画

『図書館のバリアフリー・ユニバーサルデザイン』

大活字本・LLブック・点字本・CD付きの本など、誰でもいつでもどこでも使用できるようにデザインされた資料を展示しています。



2022読書週間のイベント実施中

くにさき図書館

司書の推し本 11/20(日)まで
タイトルでありがとう 11/20(日)まで

国見図書館

ホレホレおいもほり 11/13(日)まで

武蔵図書館

としょかんおばけをかざろう 11/13(日)まで

安岐図書館

読読ワクワク秋収穫祭 11/20(日)まで



図書館イベントカレンダー

11/10(木) あかちゃんおはなし会
午前11時 くにさき図書館

11/12(土) おはなし会
午前11時 くにさき図書館
武蔵図書館
安岐図書館

11/13(日) おはなし会
午前11時 国見図書館

休館情報(市内全館)

毎週月曜 図書館休館日

11/21(月)~30(水) システム機器更新・蔵書点検のため休館
(※期間中の本の返却はブックポストにてお願いします)

司書のイチオシ

『木曜日にはココアを』
青山美智子/著 宝島社

1杯のココアから始まる、東京とシドニーをまたぐ心温まる短編小説。優しさの連鎖と思いやりのリレーで12人・12色の人生が物語を彩ります。距離や時代を超えてつながる優しいストーリーは、読み終えた後、きっと心が救われるはず。



何度も何度も読み返したお気に入りの1冊♪ スピンオフ小説『いつもの木曜日』や、続編の『月曜日の抹茶カフェ』もお楽しみください。

安岐図書館 司書 柴田 茉結

子ども司書のイチオシ

『モモ』
ミハヤエル・エンデ/作 岩波書店

とある街に迷い込んだ少女モモ。話を聞いてもらうと悩みが消えていく不思議な力を持つモモは、街の人々のかけがえのない存在に。そこに現れた「時間どろぼう」。街の人々の時間を取り戻すために、モモは戦います。「あとがき」にも注目。



自分の「時間」を見直すきっかけになりました。ピアノを習っていて音楽が大好きです。将来は音楽関係の仕事に就いて、音楽で人を元気にしたいです。

安岐小学校6年 矢野 日春 さん

国見図書館 ☎82-1585
くにさき図書館 ☎72-3500
武蔵図書館 ☎69-0946
安岐図書館 ☎67-3551



選択的夫婦別姓制度を知っていますか

文責：学校教育課 財前俊弘

「姓(名字)が変わる」という悩み

選択的夫婦別姓制度とは、夫婦が同じ姓を名乗るか、それぞれの結婚前の姓を名乗り続けるかを選べる制度のことです。

ところで、私の姪が、今年夏に結婚式を挙げました。しかし、悩みながらまだ婚姻届を出していません。事実婚という形をとっています。理由は、「女性も社会に参加するようになり、名字が変わることである」という名義を名乗らなければならぬ」「仕事上で名前より名字で呼ばれることが多く、名字で呼ばれた方が自分らしさを感じる」「名字が変わった自分を想像してみると、アイデンティティが二つに分断してしまうような気がする」というものでした。

家制度と夫婦同姓

姓については、明治時代、戸籍作成のために国民全員が姓を名乗ることを義務付け、当初、妻は実家の姓を名乗る夫婦別姓でした。その後、明治民法は家制度(戸主が権限を持つ家族制度)を導入し、配偶者は「家」の姓を称すると定め、夫婦同姓を義務付

けました。昭和22(1947)年に家制度は廃止されましたが、「夫婦は婚姻の際に定めるところに従い、夫または妻の氏(姓)を称する」として現在に至っています。

夫婦同姓・別姓を選べる社会へ

昭和60(1985)年、日本は国連総会で採択された「女性差別撤廃条約」を批准しました。条約は「夫および妻の同一の個人的権利(姓および職場を選択する権利を含む)」の確保を締約国に義務付けています。平成8(1996)年に、法務大臣の諮問機関が「選択的夫婦別姓制度」の答申をしましたが、法改正はまだできていません。世界的に夫婦同姓を義務付けている国は、日本だけとされています。

制度が実現していれば、私の姪は悩むことなく婚姻届を出せたはずで、姓という人格の一部ともいえる事柄に関する問題は、人権の問題でもありません。夫婦同姓・別姓を選べる社会への実現が、今求められています。参考文献「夫婦同姓・別姓を選べる社会へ」(恒春閣)



教育の里
あらかると

教育長就任のごあいさつ

無限の可能性を秘めた子どもたちを育むために

10月1日付で教育長を拝命いたしました、小俣秀之と申します。安岐町成久の出身で、高校教育の道を歩んでまいりました。高校教諭として、日々の教育活動の中で生徒たちが輝き躍動する場面を目の当たりにし、一人一人の可能性を改めて確認することができました。また、人材育成を念頭に置きながら、全国規模の大会の事務局員として大会運営に関わったり、新設の高等学校の開校や県・市が連携する施設の開所に携わったりするなど、いろいろな経験もしてきました。

地域の教育は、少子化の問題などでさまざまな課題があり、一つ一つ解決していく必要があります。そして、多様化や情報化が進んでいく社会の中で、子どもたちが安心・安全に学校教育を受けられるようにしていかなければなりません。未来のある子どもたちの教育を担う教育長の責務を果たすことを考えると、身の引き締まる思いです。

学ぶことが「楽しい」「楽しくなる」教育を目指して、無限の可能性を秘めた子どもたちが生き生きと喜びと希望を持ち、健やかに育つよう、教育活動に邁進していきます。国東市の教育の発展に向けて全力投球していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



国東市教育長 小俣 秀之